

横書き書籍においては、本文の任意の箇所に対して補足的な情報を付記したい場合、その本文と同一ページの最下部に「脚注」<sup>†1</sup> として補足情報を組版することが多い。

TeX 系の組版システム<sup>†3</sup> では脚注を簡単

---

<sup>†1</sup> ここでは、補足情報をページの左右余白に配置する「傍注」、章末や巻末に配置する「後注」、行間に配置する「行間注」<sup>†2</sup> などと「脚注」

に利用できる。とくに  
L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X で用意されてい  
る標準的な`\footnote`  
コマンドは、さまざま  
なパラメーターを設定  
するだけで、脚注に対  
する組版上のさまざま  
な要件を簡単にカスタ  
マイズできるようにな  
っている。